

Press Release



2016年5月12日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは4月25日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は www.covestro.com をご参照ください。

第1四半期は収益と販売量が増加

コベストロ、2016年は力強いスタート

- EBITDA は 29.3%増の 5 億 8 百万ユーロ
- すべての事業部が増益に貢献
- 主要製品の販売量は前年同期比で 8.5%増
- ポリウレタン事業およびポリカーボネート事業は主要製品の販売量で高い伸び
- 2016 年度の通期業績見通しは従来通り

ドイツ・レバクーゼン、2016年4月25日ー

素材メーカーのコベストロは、2016 年度を力強くスタートしました。前年同期と比較して、第1四半期の EBITDA（金利・税金・償却前利益）は 29.3%増の 5 億 8 百万ユーロとなりました。3つの事業部すべてがこの業績に貢献しました。さらに、ポリウレタン事業およびポリカーボネート事業は主要製品の販売量が大幅に増加し、グループ全体でも前年同期比で 8.5%増となりました。

「第1四半期、コベストロは前年度に引き続き好調な業績を維持しました。これは当社の状況が良好で、特に収益力の強さを再認識させるものです。業績は 2016 年度の通期見通し通りに進んでいます」と CEO のパトリック・トーマスは述べています。



EBITDAの増加は、主としてポリウレタン事業部およびポリカーボネート事業部での販売量の伸びによるものでした。さらに、特にポリカーボネート事業部では、原材料価格の低下が販売価格の低下を上回る結果となりました。なお、収益は3千万ユーロの一時的な保険償還も含んでいます。

2016年第1四半期の純利益は、前年同期比で58.3%増の1億8千2百万ユーロとなりました。フリー・オペレーティング・キャッシュフローは、1千3百万ユーロ減の7千7百万ユーロでした。これは主として、所得税納付額の増加と運転資金関連の資金増によるもので、その合計がEBITDAの伸びを上回ったことによるものです。

2016年度、最初の3か月でのグループの売上高は5.9%減の約29億ユーロとなりました。主な原因は特にポリウレタン事業での販売価格の低下であり、これは原材料価格の低下を反映しています。その一方、前年同期と比較して、コベストロは全地域で需要が増加しました。

第1四半期に主要製品の販売量が最も伸びたのは、アジア太平洋地域（APAC）の11.4%でした。特に中国では、売上高が15.5%増加しました。米国、カナダ、メキシコが構成するNAFTA地域、およびEMLA地域（欧州、中東、アフリカ、メキシコを除く中南米）も、それぞれ9.6%と5.8%と主要製品の販売量が大きく増加しました。

すべての事業部で増益

前年同期比で、ポリウレタン事業部は主要製品の販売量が実質10.4%増となりました。この事業部では、高品質フォームを含む各種アプリケーションの前駆体の開発・製造を行っています。EBITDAは主に販売量の増加により、39.9%増の2億1千4百万ユーロとなりました。

ポリカーボネート事業部の主要製品の販売量は、特に自動車、建築、電気・電子産業における需要増により、8.5%増となりました。EBITDAは52.6%増で1億7千7百万ユーロでした。ポリカーボネートは、コベストロが生産し、継続的に最適化している多用途の高性能プラスチックです。

塗料・接着剤・スペシャリティーズ事業部の主要製品の販売量は2.8%減でした。前年同期の6.3%増という例外的な増加の後、今期は予想通り取引の契約終了による影響がありました。ただしEBITDAは6.1%増の1億3千9百万ユーロになりました。これは、原材料価格の低下のプラス効果が、販売価格・販売量の低下を上回ったためです。塗料・接着剤・スペシャリティーズ事業部では、塗料、接着剤、シーラント用の原料、さらに高品質フィルムなどの特殊品を扱っています。



コベストロは 2016 年度の通期業績見通しは従来通りであるとしています。2015 年度年次報告書で世界経済成長率の前提を記載しましたが、コベストロは現在、これを 2.6%と予測しています。一方で、コベストロの主要製品の販売量については、特にポリウレタン事業、およびポリカーボネート事業の好調な動向を加味して、一桁台半ばの増加を見込んでいます。コベストロは、フリー・オペレーティング・キャッシュフローについても高水準で推移し、過去数年間の平均を上回ると予測しています。コベストロは、使用資本利益率（ROCE）もまた、引き続き資本コストを上回ると見込んでいます。

.....

コベストロ社について

コベストロ社は 2015 年度売上高が 121 億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、電気／電子、建築、スポーツ・レジャーの各産業です。コベストロ社（旧バイエルマテリアルサイエンス社）は、世界中の 30 拠点に生産施設があり、社員数は 2016 年第 1 四半期末で約 15,700 人です。詳しくはこちらをご覧ください。covestro.jp

【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル 23F

広報部 梅澤 Tel:03-6250-7079 / Fax:03-5219-9706



コベストログループの主要データ

	2015年	2016年	前年比
	第1四半期	第1四半期	
	(百万ユーロ)	(百万ユーロ)	%
売上高	3,054	2,875	-5.9
EBITDA ※1	393	508	+29.3
特別項目計上前EBITDA ※2	416	508	+22.1
EBIT ※3	206	340	+65.0
特別項目計上前EBIT ※4	251	340	+35.5

- ※1 金利・税金・償却前利益
- ※2 特別項目計上前の金利・税金・償却前利益
- ※3 金利・税引前利益
- ※4 特別項目計上前の金利・税引前利益

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト (www.covestro.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。